

露骨な改憲・タカ派路線

第3次安倍改造内閣

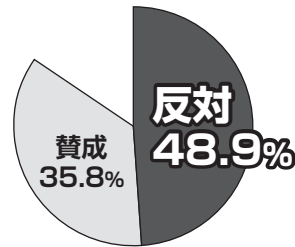
国民「だまし討ち」で暴走を加速

第3次安倍改造内閣は、改憲右翼団体「日本会議」と一体の議員連盟に所属する菅官房長官、麻生副総理・財務相、岸田外相ら主要閣僚9人が留任。違憲の「電波停止」発言で、放送局を威嚇した高市総務相も留任です。「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」所属など「靖国派」もズラリで、名うての「靖国派」・稲田朋美氏は防衛相に抜擢されました。

国民の多数は「改憲反対」

しかし、安倍首相がいくら改憲論議を進める姿勢を強めても

改憲
安倍首相の下での



〔共同〕7月11日～12日調査

国民の多くは改憲を望んでいません。

参院選中、安倍首相は「憲法隠し」の姿勢を押し通し、選挙が終わった途端、改憲に着手するといひ出しました。「だまし討ち」は許せません。こんな政治は決して長続きしません。

日本共産党

稲田防衛相 名うての「靖国派」

防衛相は安保法（戦争法）の具体的な発動を担います。“憲法9条を変えて国防軍にする”と明確に主張している稲田氏をすえたところに安倍政権の非常な危険性が表れています。

「核保有」検討」発言も

「暴言録」 「国民一人ひとりが、自分の国を守るためには、血を流す覚悟をしなければならない」（10年12月の講演）
「核保有を、単なる議論や精神論でなく国家戦略として検討すべきではないでしょうか」（『正論』11年3月号）

終戦
71年

戦争は一度とごめんです

ストップ! 安倍改憲



戦後71年の8月を迎えました。日本の侵略戦争は2000万人以上のアジアの人びと、300万人以上の日本国民の生命を奪いました。その悲しみと反省のうえに、「政府の行為によって再び戦争の惨禍

がおこることのないようにする」と決意して制定されたのが日本国憲法です。

「任期中に改憲」を表明

安倍首相は、明文改憲（憲法条文の字句改定）を「自分の任期中に」果たすといひました（3日）。改憲の土台にするという自民党の改憲案は9条2項を削除して「国防軍」を書き込むと明記しています。

「安倍改憲を許さない」の一点での共同を大きく広げましょう。



日本共産党

焼き場に立つ少年 1945年長崎。亡くなった弟を背負い直立不動で火葬の順番を待つ少年。（撮影：ジョー・オダネル氏）

近畿民報

2016年8月 No.2(第240号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目